

福岡県環境放射線テレメータシステムの構成

発電所周辺測定局

玄海原子力発電所周辺測定局(2か所)



空間放射線量率（ガンマ線）測定器、風向・風速・雨量等の気象観測装置により、玄海原子力発電所周辺のデータ観測を行います。

モニタリングポスト

環境放射能水準調査測定局(7か所)



県内の放射線の水準を把握するため、空間放射線量率（ガンマ線）の調査を行います。

監視局

主監視局(福岡県庁)



副監視局(福岡県保健環境研究所)



発電所周辺測定局、モニタリングポストから1分間隔で各種データを収集し、演算・蓄積・解析を行い、異常がないか監視します。

表示局

福岡県庁



福岡県保健環境研究所



福岡市役所



糸島市役所



監視端末により、測定状況を確認します。また、測定状況は県庁、福岡市役所、糸島市役所のロビーに設置している表示装置で県民の皆様も御覧になれます。

ホームページ

測定データは、「ふくおか放射線・放射能情報サイト」で随時公開しています。

SPEEDIネットワークシステム

緊急時に放射性物質の拡がりや被ばく量を予測する原子力規制庁のシステムへ、常時測定データを送信しています。